

資料シリーズ No.78

2025



職業訓練基準の分野別見直しに係る基礎研究 (普通課程) 機械分野

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

職業能力開発総合大学校基盤整備センター

職業訓練基準の分野別見直しに係る基礎研究 (普通課程) 機械分野

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

職業能力開発総合大学校基盤整備センター

はじめに

職業能力開発促進法に規定されている職業訓練の基準（以下「基準」という。）は、我が国の職業訓練の水準の維持向上のため、段階的かつ体系的に訓練が実施できるよう統一的に設定された指針であり、わが国で実施されるすべての訓練課程を包括している。この基準は広く公開されており、多くの関係者の要請と評価に耐えるため、技術革新や社会情勢の変化及び関連法令改正等を的確に捉え、不断の見直しを行う必要がある。

基盤整備センターでは、平成 18 年度から順次、普通課程普通職業訓練の基準を分野別に見直しを行っており、基礎研究会において厚生労働省が省令改正等を検討するための素案として基礎資料を作成している。

令和 6 年度は平成 29 年度以来、7 年ぶりに機械分野（1 系 4 科）の基準を見直しの対象とした。当センターが都道府県に対して実施した「機械分野の基準に対する意見・要望」調査の結果を基に、全国から選任された職業訓練指導員や職業大教員等で構成する基礎研究会において審議をお願いした。

長らく日本工業規格と呼ばれてきた JIS であるが、2019 年に法改正により日本産業規格となった。これ以前より国際規格を取り入れる規格改正が進んでおり、製品の幾何特性仕様（GPS）に関わる規格が制定・改正されている。2016 年には一部の規格で「寸法」が「サイズ」に置き換わるなど、従来の「寸法」だけでもものを作る考え方から変化している。

今後ますます機械加工の技術者への要求が高度になることが予想される中、基礎研究会としても、その潮流に対応した基準に改正され、結果的に訓練施設等が行う将来を見据えた機械加工の技術者の育成・確保に寄与できればと思う。

委員各位には施設の訓練の合間に精力的にご参加いただき、専門家の知見を駆使して白熱した議論の基、見直し案として素晴らしい基礎資料を作成していただいた。委員及び委員を支えていただいた所属施設に感謝申し上げます。

2025 年 3 月

職業能力開発総合大学校
基盤整備センター
所 長 高井 宏幸

職業訓練基準の分野別見直しに係る基礎研究会（普通課程）機械分野 委員名簿
（順不同、敬称略、所属は委嘱時のもの）

基礎研究会

氏 名	所 属	役 職
苑田 翔太	北海道立苫小牧高等技術専門学院	職業訓練専門員
高橋 総吉	宮城県立石巻高等技術専門校	技術主査
小川 和史	栃木県立県央産業技術専門校	教授
犬田 勝	東京都立城東職業能力開発センター江戸川校	職業訓練担当主任指導員
小出 孝幸	岡山県立南部高等技術専門校	副参事
杉野 秀樹	徳島県立中央テクノスクール	訓練第一担当係長
二宮 敬一	職業能力開発総合大学校 機械設計ユニット	准教授

オブザーバー

氏 名	所 属	役 職
園田 吾朗	厚生労働省人材開発統括官付訓練企画室	職業能力開発指導官
平賀 広記	厚生労働省人材開発統括官付訓練企画室	基準・指導員係

事務局

氏 名	所 属	役 職
坂尾 英行	基盤整備センター 開発部	部長
磯部 真一郎	基盤整備センター 開発部教材開発室	室長
金城 圭一	基盤整備センター 開発部教材開発室	シニアアドバイザー
佐藤 一晃	基盤整備センター 開発部教材開発室	開発研究員
樹神 歩夢	基盤整備センター 開発部教材開発室	開発研究員

調査研究担当室：教材開発室

目次

第1章 職業訓練と基準	3
第1節 職業訓練の概要	3
1-1 職業訓練の種類と概要	3
1-2 学校教育と職業訓練の関係	4
1-3 職業訓練制度の変遷	4
1-4 普通職業訓練の普通課程と短期課程	6
1-5 認定職業訓練	9
第2節 職業訓練基準の概要	10
2-1 職業訓練基準に関する法的背景	10
2-2 別表第2（厚生労働省令）	10
2-3 職業訓練基準の各細目（通達）	11
2-4 職業訓練基準改正の流れ	15
第2章 見直し分野と特徴	19
第1節 見直し分野の変遷と機械分野の概要	19
1-1 見直し分野の変遷	19
1-2 機械分野における訓練科の概要	19
第2節 機械分野各専攻科の特徴	21
2-1 機械加工科	21
2-2 精密加工科	21
2-3 機械製図科	21
2-4 機械技術科	21
第3章 基礎研究会における審議と結果	25
第1節 アンケート調査と結果	25
1-1 調査の概要	25
1-2 アンケート結果	25
第2節 基礎研究会の実施	27
2-1 基礎研究会の概要	27
2-2 第1回 基礎研究会（令和6年8月26日）	28
2-3 第2回 基礎研究会（令和6年9月24日）	30
2-4 第3回 基礎研究会（令和6年10月17日）	30
2-5 第4回 基礎研究会（令和6年12月20日）メール審議	30
第3節 令和6年度基礎研究会の審議結果	31
3-1 別表第2の論点と審議結果	31
3-2 教科の細目の論点と審議結果	32
3-3 設備の細目の論点と審議結果	35
3-4 技能照査の基準の細目の論点と審議結果	39

3-5	モデルカリキュラムの論点と審議結果	41
第4節	令和6年度基礎研究会のまとめ	41
4-1	見直し案	41
第4章	機械分野の訓練の現状と取り組み	45
第1節	訓練科の現状と特徴ある取り組み	45
1-1	北海道立苫小牧高等技術専門学院 精密機械科	45
1-2	宮城県立石巻高等技術専門校 金属加工科（塑性加工科）	47
1-3	栃木県立県央産業技術専門校 機械技術科	51
1-4	東京都立城東職業能力開発センター江戸川校 3DCAD・CAM 実践科	53
1-5	岡山県立南部高等技術専門校 機械加工科（1年課程）	55
1-6	徳島県立中央テクノスクール 機械技術科	57
第5章	今後の課題	63
第1節	今後の課題	63
第2節	今後の見直し	64
2-1	今後の見直し	64
2-2	まとめ	65
巻末資料		
資料1	機械系 機械加工科見直し案（新旧対照）	67
資料2	機械系 精密加工科見直し案（新旧対照）	77
資料3	機械系 機械製図科見直し案（新旧対照）	89
資料4	機械系 機械技術科見直し案（新旧対照）	97
資料5	モデルカリキュラム見直し案（機械系4科）	107